

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲を持って地域のための活動に取り組んでいます。
------	-------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

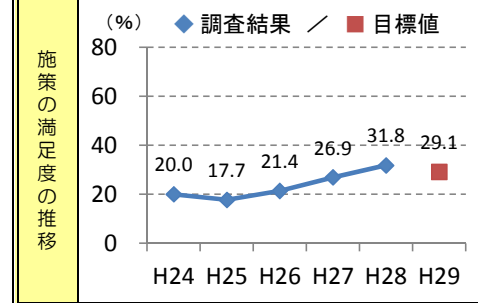
2 施策の取組状況

施策目標	より良い地域社会をつくるために、学びの成果を活動に活かしています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	人材バンクの登録者数	単年度目標値	370	424	527	631	684			728	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	20.0%	17.7%	21.4%	
現状値		320人	実績値	306	306	316	448	529	目標値(H29)	29.1%	前年度からの増減			-2.3pt	3.7pt	5.5pt	4.9pt		
目標値(H29)		728人	単年度の達成度	82.7%	72.2%	60.0%	71.0%	77.3%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B									
指標2	家庭教育サポーター養成講座修了者数	単年度目標値	50	65	80	95	110	125	B	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	現状値	38人	実績値	46	65	73	85	90			中核市平均	2.19	2.03	2.02	1.99	2.05			
	目標値(H29)	125人	単年度の達成度	92.0%	100.0%	91.3%	89.5%	81.8%			実績値	2.10	2.12	1.97	2.04	2.01			
現状値		実績値						中核市での本市の順位	20位/41市中		18位/41市中	22位/42市中	19位/43市中	24位/45市中					
目標値(H29)		単年度の達成度						中核市平均											
								実績値											
									中核市での本市の順位										

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (±5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・平成28年5月の中央教育審議会における「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について(答申)」では、「全員参加による課題解決社会」を実現していくため、各種課題に対応する多様な学習機会を充実し、生涯学習が個人の自発的意思に基づいて行われることを基本としつつ、学習した成果が活用と有機的につながる環境を整備することを両輪で進めることにより、「『学び』と『活動』の循環」を形成していくことが重要であるとしている。	市民満足度	地域人材を育成する積極的な取組とともに、各種団体と連携しつつ、学んだ人が地域で活動する機会の充実を図ってきたことにより、市民満足度は昨年度より増加している。	総合評価	75点
施策指標	・人材バンクの登録者数については、市内の生涯学習センターによる地域への働きかけなど、市民への周知に積極的に取り組んできたことにより、前年度より登録者数が増加した。 ・家庭教育サポーター養成講座修了者数については、親学や家庭教育支援の輪を広げていく必要性を訴え、家庭教育支援の充実に向けて取り組んできたことにより、修了者数を伸ばしている。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H28事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	生涯学習情報提供事業	○★	学習情報提供及び学習支援の充実と、学んだ成果と活動をつなげる仕組みづくり	全市民	生涯学習情報提供システム(マナビス)による情報提供、学習相談窓口の開設	計画どおり	1,467	H3		市民の主体的な生涯学習活動を支援するため、多様な学習情報の提供に取り組むとともに、学んだ成果を活かしたい人材を支援するため、市民周知の強化や、生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施、社会教育関係団体との連携強化による「地域人材マッチング機能」の活用など、人材バンクの効果的な運用に取り組む。
2	宇都宮市地域婦人会連絡協議会補助金		「宇都宮市地域婦人会連絡協議会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市地域婦人会連絡協議会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	400	S36		女性を中心とした地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、女性団体交流会の共同開催など、行政と連携した取組の充実や団体活動の更なる活性化について引き続き支援する。
3	宇都宮ユネスコ協会補助金		「宇都宮ユネスコ協会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮ユネスコ協会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	100	S36		人権・国際理解教育の推進のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続していく。
4	宇都宮市PTA連合会補助金		「宇都宮市PTA連合会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市PTA連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	950	S32		家庭と地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、意見交換会など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
5	宇都宮市子ども会連合会補助金		「宇都宮市子ども会連合会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市子ども会連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	1,100	S44		地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、指導者研修の共同開催など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
6	人財かがやき支援事業(再掲)	★	市民活動団体等の活動活性化	生涯学習にかかわる又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画どおり	42	H20		地域教育メッセにおいて、出展団体や市民が活動紹介や情報交換などの交流を通して、今後の活動の活性化や機会づくりにつながる場を提供する。引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と一体的に開催し、より多くの市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、事業の更なる充実を図っていく。
7	成人対象事業(再掲)	★	市民の主体的な学習活動の支援と個人の自立に向けた学習の促進	概ね18歳以上の市民	各種教養講座、高齢者教室などの開催	計画どおり	2,766	S24		社会情勢の変容や多様な市民ニーズに対応した魅力ある講座を実施するとともに、地域資源や地域の魅力を再認識し、郷土愛や市民意識を高めるような講座の実施や、市民が企画・運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫など、地域教育を支える大人の学習機会として、より多くの市民が受講できるよう努めていく。
8	講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業(再掲)	★	生涯学習の推進役となる人材の養成	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	Vスタッフの養成	計画どおり	56	H13		市民目線による講座の企画・運営を通じた生涯学習を推進するため、引き続きVスタッフの養成を行うとともに、講座修了後も継続した育成支援に取り組むため、フォローアップ研修会の開催や、生涯学習センターにおける活動機会の拡充を図るなど、Vスタッフの円滑な活動に向けた支援に取り組む。
9	家庭の教育力向上事業の推進(再掲)	★	学校・家庭・地域・企業等と連携した家庭教育支援の充実	主に保護者、未来の親(中学生・高校生等)、家庭教育支援団体、企業	親学出前講座の実施、うつのみや版親学と子どもの情報誌の発行、家庭教育サポーターの養成、市P連・企業との連携等	計画どおり	2,801	H19		人づくりにおいて重要な役割を担う家庭の教育力向上を図るため、親学出前講座や家庭教育支援講座などの講座開催及びうつのみや版親学と子どもの情報誌と家庭の教育手帳の発行を通じた情報提供を通して、学習機会の充実を図っていく。また、親学習プログラム指導者研修会、家庭教育サポーター養成講座及びフォローアップ研修、家庭教育サポーターとの協働企画講座の運営等を通して、家庭教育支援団体との連携強化及び家庭教育支援者の人材育成に取り組む。家庭教育サポーターや親学習プログラム指導者の活動機会の拡充及び資質向上を図るため、それぞれの活動に応じた支援を行うとともに、効果的かつ実践的なフォローアップ研修等を実施する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生涯学習情報提供事業については、多様な学習情報の提供だけでなく、学んだ人を活動主体(団体等)につなぎ、学習の成果を活かす仕組みの活用や周知など、人材バンクの活用を促進していく必要がある。</li> <li>◆家庭教育サポーターについては、新規の家庭教育サポーターの育成に取り組んでいくとともに、活動機会の拡充や資質の向上を図っていく必要がある。</li> </ul>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆多くの市民の参画による地域社会の活性化を図るため、各種講座等で学んだ人はもとより、自らの知識や経験を活かしたい市民を地域活動や社会参画へとつなげる効果的な仕組みの充実に取り組んでいく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆生涯学習情報提供事業については、市民周知の強化や生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施、社会教育関係団体との連携強化による「地域人材マッチング機能」のさらなる活用を進めていく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆家庭の教育力向上事業の推進については、家庭教育サポーター養成講座及びフォローアップ研修などの人材育成に取り組んでいくとともに、活動機会の拡充及び市民への周知・啓発などの支援を行っていく。</p>